

通学路の安全はどう把握しているのか

橋本議員は、通学路の安全確保と歩道の整備、住宅リフォーム助成制度について質問しました。

通学路の安全確保では、以前、チェック体制が整備されたことに触れ、その後の状況把握や整備状況について問いました。

これに対して教育長は、「通学路の安全確保に当たっては、毎年、各学校から提出される危険箇所の改善要望を基に、学校関係者、国、県、市の道路管理者と交通安全関係者による合同点検を、要望のあった現地で行い、具体的な対応策を個々に検討している。そのうち、歩道整備や信号機の設置などの対応が必要なものについては道路管理者等へ改善の要望を行い、通学路の変更や見守りボランティアの依頼などの対策については、学校に対して指導している。今年度は、市内全域で48校127か所の合同点検を行い、89か所について対策が必要であると判断



日本共産党上越市議員団ニュース

No.589 2018年4月15日

各 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
連 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (大字上中田)

した。このうち39か所は、今年度中に対応が完了し、残る50か所は、危険度や事業費などを総合的に判断して計画的に対策を講じていく」と答えました。

橋本議員がさらに詳しい要望の内容と対応の時期を問うと、教育長は、「道路では点字ブロックや防犯灯の不備、樹木の繁茂による不具合、警察関係では信号の点灯時間の調整などである。今後の課題としては、歩道の延長、防護柵の改良などがある。毎年7～8月に現場に出かけ

子どもの貧困対策は急務、どう把握しどう対処しているのか

平良木議員は、子どもの貧困対策、医療費の助成制度、JRのダイヤ改正による市民への影響について質問しました。

子どもの貧困問題では、実態をどのように把握しているのか、また、実態把握のためにどのような手立てを講じるのかと問いました。

これに対して市長は、「県は、平成28年10月に、物品の所有状況や子どもへの支出、困窮経験などの項目からなる子育て世帯調査を実施した。当市では、子どもの貧困は、単に家庭の経済的困窮のみを捉えるものではなく、家庭の課題や困り事の現れであるとの認識の下で、生活保護世帯やひとり親世帯、生活困窮世帯などへの経済的支援だけでなく、問題を抱える子育て中の家庭に対する相談支援など、様々な施策を実施してきている。今年度は、子どもの貧困の実態把握を進めるため、庁内関係課による協議を始め、行政とは異なる視点で貧困の状況を把握しているNPO法人や子ども食堂代表者などの支援活動団体関係者と意見交換会を行った。こうした中で、問題の根深

て状況を把握し、対処の結果は3月までにホームページに公開するとともに関係者に通知している」と答えました。

橋本議員が次に質問したのは、「住宅リフォーム助成は、市内事業者の仕事づくりに大きな効果を生み出しているという市内経済における効果を考え、前年並みの予算措置を確保すべきではなかったのか」という点です。

このことに対して市長は、「国は個人の



さ、複雑さを改めて共有するとともに、有益な示唆や気づきが得られたと報告を受けている。平成30年度には、小中学校や保育園の保護者などを対象に、貧困の状況や生活実態を含むアンケート調査を実施し、その結果に基づいて、新たに策定する上越市版エンゼルプランにも子どもの貧困対策を位置付けて、鋭意、取り

前回に引き続き、日本共産党議員団の3月議会での一般質問の概要を紹介します。

資産形成に寄与する住宅リフォーム促進事業について、次年度以降の社会資本整備総合交付金事業の交付対象としないこととした。これを受け、市では、これまでの事業効果を踏まえてこの事業は継続実施すべきと判断し、一般財源は今年度と同額の6,000万円に1,500万円を上乗せし、7,500万円とした」と答えました。

なお、昨年交付金活用分と合わせて1億円の予算でした。

組んでいく」と答えました。

平良木議員はさらに、「アンケートはどのような形で行うのか。また、貧困対策に特化した計画が必要ではないか」と指摘しましたが、健康福祉部長は、「アンケートの内容は現時点では明らかになっていない。エンゼルプランには、具体的なアクションプランも含まれているので、子どもの貧困に特化した計画がなくても対応できる」と答えました。

平良木議員が「そのエンゼルプランはいつまでにできるのか」と重ねて問うと、同部長は「エンゼルプランには、子どもの権利や保育園の整備など全般的な子育て支援を含めて、網羅的に計画する予定なので、平成30年度に検討を開始して、32年度に完成予定である」と答え、当面の対策としてはこれまでの支援を継続していく方針であるとししました。

日本共産党議員団 市民の市政を語る会
みなさんと
4月26日(木) 18:30~20:30 市民プラザ第2会議室